

計画体系コード	5-3-2		事業名	やすらぎ歩行空間プランの策定
担当	清田区市民部地域振興課 鈴木 889-2400(228)			
全 体 計 画				
事業内容	旧国道36号がもつ歴史・文化的な側面を生かした美しい景観づくりや緑と親しむ空間づくりを目指し、区民が利用しやすく、親しみを感じる「やすらぎ歩行空間プラン」を策定する。 現在整備している区役所周辺に引き続き、北野1条2丁目から清田1条1丁目の区間約1kmを対象として、沿線にある企業や地域住民と連携し、点在する桜並木などを生かしながら、歩行者や自転車に配慮した道路環境づくりを目指す。 このプランは平成22年度までに、地域住民や有識者、関係団体などで構成する会議において検討・策定する。		<年度別の事業内容>	
			(H20) ワークショップの開催、先進事例調査及び現地調査 (H21) ワークショップの開催及びプランの概要検討 (H22) ワークショップ、まちづくり会議の開催及びプラン策定	
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容（決算）		平成20年度事業内容（決算）	
			○本プラン検討会設立準備会の開催（2回） 1月 設立準備会の立ち上げ、主旨説明、検討会委員の選出等 3月 プランの方向性、公募委員の選定等 ○清田区民フォーラム 11月4日 「当該区間を含めた旧国道36号のあり方」についてパネルディスカッションを開催	
平成21年度事業内容（予算）				
○検討会の開催（4回） 5月 検討会の立ち上げ、主旨説明、ワークショップ議題等検討 8月 ワークショップの意見に対する検討・まとめ ワークショップ議題検討 11月 ワークショップの意見に対する検討・まとめ ワークショップ議題検討 2月 ワークショップの意見に対する検討・まとめ、プランの概要検討 ○ワークショップの開催（3回） 7月 ワークショップの立ち上げ、主旨説明 議題に対する意見交換、取りまとめ 9月 議題に対する意見交換、取りまとめ 12月 議題に対する意見交換、取りまとめ ○清田区民フォーラム 11月4日 プランの進捗状況等報告				

平成 21 年 度 第 2 次 新 ま ち づ くり 計 画 事 業 進 行 調 書 (そ の 2)

計画体系コード	5-3-2		事業名	やすらぎ歩行空間プランの策定			
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
やすらぎ歩行空間プランの策定		-	-	検討	検討	策定	策定
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
■ 市民との連携、市民参加 検討会の運営を円滑に進めるために、地域代表者、有識者等4名の委員による設立準備会を開催し、検討会の構成委員、プランの方向性、プラン策定までの流れについて検討した。 ■ 企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし) ■ 市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)							
評 価 (成 果)				課 題			
地域代表者、有識者、公募委員等で構成される検討会や区民・企業等が参加するワークショップを開催することにより、地域の特性や住民のニーズをプランに反映することができる。 また、区民・企業等の参加を得て、広く検討することで、まちづくりへの参加意識を高め、地域力の醸成を図ることができる。				プランの策定段階から地域住民、企業等に参加を促し、十分な理解を求める必要がある。現在、歩道の一部が、企業等の駐車スペースとして日常的に使われているため、慎重に進めていく必要がある。 平成14年に策定された「清田区役所周辺地区まちづくり構想」や、現在検討している「北野里塚旧道線(清田小学校前付近)」の整備内容との整合性を考慮する必要がある。 整備後の活用策についての区民参加体制を確立する必要がある。 (環境美化運動、イベント企画等) 本市関連部局との連携及び予算の確保。			
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向							
23年度以降は策定した「やすらぎ歩行空間」プランに基づき、出来ることから順次整備等を実施する。							

計画体系コード	5-3-2	事業名	やすらぎ歩行空間プランの策定			
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	0	2,500	3,000	2,500	8,000
	財源					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市内債	0	0	0	0	0
	その他の	0	0	0	0	0
認識	一般財源	0	2,500	3,000	2,500	8,000
予算	事業費	0	2,000	2,700	-	4,700
	財源					
	国・道支出金	0	0	0		0
	市内債	0	0	0		0
	その他の	0	0	0		0
認識	一般財源	0	2,000	2,700		4,700
実績	事業費	0	0	-	-	0
	財源					
	国・道支出金	0	0			0
	市内債	0	0			0
	その他の	0	0			0
認識	一般財源	0	0			0
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				33.8%
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)						
[全体]						
[19年度]						
[20年度]						
検討会の運営を円滑に進めるために、設立準備会を開催し検討した。このため、当初予定していたワークショップ等の開催は平成21年度に変更した。また、交通量等現地調査については、土木部で別途実施した交通量調査の結果を参考とした。						
ワークショップ等運営費の減(▲1,500千円)、現地調査費の減(▲500千円)						
[21年度]						